

電気工学専攻博士前期課程の奥田太郎さんが「学生優秀発表賞」を受賞しました。

平成25年度電子情報通信学会電磁界理論研究会の表彰式が2014年3月20日に新潟大学で行われ、電気工学専攻博士前期課程の奥田太郎さんが「学生優秀発表賞」を受賞しました。

対象論文は、第42回電磁界理論シンポジウムで発表が行われた「境界型積分方程式法によるプラズモン共鳴の解析－電子顕微鏡写真を用いた金属粒子モデルの作成－」です。

研究内容は、ナノスケール物体の微小形状差が局在表面プラズモンを発生させるための条件に及ぼす影響の解明となっております。現在、ナノスケールにおける精密な加工は困難であり、設計した理想形状に対して、加工誤差が生じるという問題点があります。この報告では、作成された実在のナノ粒子の電子顕微鏡写真から解析モデルの作成を行い、理想形状と比較することで、実際の加工精度による形状差の影響を示したものとなっております。このことが高く評価され、今回の受賞に至りました。

